

南海トラフ沿いで想定されている 大規模地震や津波に備えましょう

総務課防災危機管理室 TEL 25-1118

南海トラフ地震は、静岡県から宮崎県の沖合までの南海トラフ沿いのプレート境界で概ね 100 から 150 年間隔で繰り返し発生してきた大規模地震です。前回の南海トラフ地震が発生してからすでに約 80 年が経過しており、次の南海トラフ地震発生 of 切迫性が高い状態です。

大きな地震の発生など南海トラフ沿いで異常な現象が観測されると、南海トラフ地震の発生可能性が、平時より高まると考えられます（1854 年に発生した安政東海地震の時には、約 32 時間後に安政南海地震が発生していました）。このため、南海トラフ地震の想定震源域周辺でマグニチュード 7.0 以上の地震が発生した場合などには、想定震源域における新たな大規模地震の発生可能性の高まりをお知らせするため、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます（令和 6 年 8 月 8 日には、日向灘（宮崎県の沖合）の地震に伴い、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発表されました）。

「南海トラフ地震臨時情報」が発表されても南海トラフ地震が必ず発生するとは限りませんが、大規模地震に備えた行動を取ることで、被害を減らすことができます。突発的な地震に日頃からしっかり備えるとともに、情報が発表されたら、「日頃からの地震への備えの再確認」に加え、すぐに避難できる態勢の維持などの「特別な備え」をお願いします。地震発生後では津波からの避難が間に合わない可能性のあるかたがたは、自治体からの指示に基づき 1 週間の事前避難が必要となることもあります。

また、「南海トラフ地震臨時情報」が発表されなくても大規模地震が発生することがありますので、日頃から家具などの固定や避難場所・避難経路の確認などを行い、地震に備えておきましょう。

くわしくは、内閣府のホームページで確認してください。



公益社団法人志摩医師会 救急医療を学ぶ市民公開講座

「災害時におけるDMATの活動と現在の三重県の状況」

健康福祉課健康係 TEL 25-1146

志摩医師会では、災害時にどのように医療が行われるのかを学ぶための市民公開講座を開催します。今回は、災害時に活躍する「DMAT」という医療チームの活動について、現役のDMAT隊員である医師からお話をうかがいます。



と き 9月4日(木) 午後4時～5時30分

と ころ 保健福祉センターひだまり

講 師 伊勢赤十字病院
循環器内科副部長・統括DMAT隊員
中村 憲二 先生

入 場
無 料

同時開催

鳥羽市医療MaaS車両展示
およびオンライン診療実演

と き 午後3時～5時30分

【主催】公益社団法人志摩医師会 【問い合わせ先】 TEL 0599-44-0176

【共催】鳥羽市・志摩市・鳥羽市消防本部・志摩市消防本部